

### 〔アメリカシロヒトリ〕

(発生時期の目安：5月下旬から6月中旬まで、8月中旬から9月上旬まで)

卵は、葉裏にまとまって産み付けられ、ふ孵化後の幼虫も集団で巣網をつくり、葉を食害する。主に、サクラ、プラタナス、ハナミズキ、柿等の多種類の樹木を食害する。

#### ★駆除・防除ポイント

- ・幼虫が集団で巣網の中にいるうちに、枝ごとせん定する。
- ・落ち葉などをこまめに除去し、サナギの段階で防除に努める。
- ・第1世代幼虫を丁寧に採取することにより、第2世代以降の発生量を減らすことができる。

### 〔チャドクガ〕

(発生時期の目安：4月下旬から5月下旬まで、8月中旬から9月上旬まで)

卵は、葉裏や枝にまとめて産み付けられる。卵、脱皮殻、幼虫（オレンジ色に黒い斑点の毛虫）、サナギ、成虫のすべてに毒があり、皮膚に触れると非常に強い痒みと刺激痛がある。主にツバキ・サザンカ・お茶の木が被害を受けやすい。

#### ★駆除・防除ポイント

- ・集団でいるうちに、せん定等で除去すると捕獲しやすい。ただし、振動等を受けると、自ら糸をはいて落下し逃走するため、直下にいないように注意し、落ちた幼虫を取り残しの無いように捕獲する。
- ・絶対に皮膚に触れないよう、防護手段を徹底する。もし、触れてしまったら粘着力のあるテープ等を利用して、皮膚に付着している毛を取り除き、水で洗い流す。・卵の抜け殻、脱皮殻なども皮膚のかぶれを起こすので、幼虫の捕獲後も、これらの取り残しの無いように確認を行うことが必要。

### 〔モンクロシャチホコ〕

(発生時期の目安：8月上旬から9月下旬まで)

成虫の蛾が8月上旬から葉裏にまとめて産卵し、小豆色をした幼虫(毛虫)による食害がある。始めは密集しているが、成長するにつれ体色が紫黒色になるとともに、白い毛が目立つようになり、しだいに一匹ずつ分散する。

9月下旬から10月上旬に樹をおりて土中でサナギ化する。

主に、サクラ、ウメ、スモモ、ナシなどバラ科の樹種を食害する。

#### ★駆除・防除ポイント

- ・幼虫発生とともに、サクラの樹の下に黒いフン(ケシ粒からゴマ粒大)が見られる。
- ・早期に集団でいるうちにせん定等で除去すると捕獲しやすい。
- ・枝の先端から食害するので、葉がレース状になった枝に注意する。
- ・振動を与えると自ら落下して逃げるので揺らさないよう注意する。
- ・サナギ化のため幹を降りるので、粘着トラップ等の使用も検討する。

**樹木害虫の被害を最小限にするためには、早期発見と早期除去が大切です。**

**紹介しました防除ポイントを参考に、極力薬剤を使用しない駆除にご協力をお願いします。**